

# 道標ない旅

～「自立」と「共生」を目指して～

南郷中学校

令和元年12月17日(第28号)

校長 益田 孝彦 875-9494

## ◆◆ 南郷中学校教育懇話会を開催しました。 ◆◆

12月7日(土)に南郷中学校にて教育懇話会を開催しました。そこで出た話題を紹介します。生徒会からは、会長の さん副会長の さんが出席。 会長さんからは、2005年度から続く意見箱ですが、その有効な活用を目指して、意見箱に入れられた意見に対しコメントを返すようにし始めた事が報告されました。また 副会長さんからは、12/2に始まった、いい事に気づいたら紙に書くと、それを掲示してくれる「いいこと Box」の取り組みが紹介されました。集まった教育懇話会の大人の方々からは、応援の拍手と頑張っている声援が生徒会の二人を包み込みました。

続いては葉山警察署生活安全課長さんからは、犯罪は65件(昨年度比-11件)ですが、空き巣が3件(+2件)、交通事故は105件(内、児童生徒5件)死亡事故0は継続中。町外在住の青少年で大麻所持が数件あり、薬物関係を警戒している事などが報告されました。

青少年指導員さんからは、さわやか体験学習・竹の子掘り・稚魚放流潮干狩り体験や、ジュニアキャンプ等に取り組んでいる事が報告されました。民生委員さんは、ふだん地域の見守りや、福祉の橋渡し、学校訪問などに取り組んでいる事や、今年度53名の委員の内、20名を超す委員が交代し新しくなった事の報告がありました。

地域の会長さんたちからは、FGC活動を楽しみにしている事、ボランティア清掃も期待している事、生徒を迎え入れる準備の中で自分たちも知らない事を生徒に話している方に出会い大変勉強になった事などお話をいただきました。子供会の継続が難しい実情や町内会の結集の難しさや、逆に若いお母さん方が自治会で活躍しているお話などもありました。

葉山小や長柄小の活動やPTA活動についての紹介もあった中、本校からは学校だよりで紹介したことのあつる、コミュニティスクールについて、見学してきた報告を皆様にお伝えしました。

話題の中には、「バスの無償化を考えてほしい。暗がりや自転車等で走る子どもたちがかわいそうだ。」「借り上げバスが出来なくなった。増発バスは対応してくれるのだが、役場方面に行くバスがない。葉山を循環する路線さえあれば解決するのだが。」「南郷中に上がってくる坂道の適切な道路標識が足りない。」「昔よく取られた手法だが、部活動で連帯責任を取る考え方は今もあるのか。」「南郷中学校の文化祭ポスターやプログラムに開催の日付が入っていないのはなぜ?」→「学校があれていた時期に開催日が分かると不都合があったことの名残では。」などが、活発な意見交換がなされました。

今まで土曜日開催でしたが、次年度以降は平日開催となることも承認されました。

## ◆◆ 長柄小・南郷中合同避難所運営委員会が、12月8日(日)南郷中にて開催されました。 ◆◆



台風15号・19号は様々な知見を葉山町にもたらしました。特に葉山町全校に避難所運営委員会が立ち上がった今年度、いくつかの解決すべき課題も出てきました。南郷中としての課題を私は以下のように話しました。

「地震の際の避難所と、終わりが見えている大雨洪水土砂災害に対する避難所とは考えを分けて考えたい。南郷中ではペットの受け入れは自転車置き場と考えていたが、台風時その考えは通用しない。校舎に守られた生徒昇降口が今回妥当であった。台風一過学校はすぐに再開されるが、土砂災害で実際に家屋を失った方は、南郷中に長期の避難を余儀なくされる。学校の通常運営と両立できる家屋を失った避難者の避難場所の確保を、教職員同意の下確立しておく必要性を感じた。」

このあとの協議で、「1. ペットの同行避難について」「2. 車両で避難して行く避難者の受け入れについて」「3. 他校避難所で散見されたという体育館内でテントを張ることについて」「風水害での避難所運営について (→風水害については

役場主導)」「教室の開放について (→南郷中は考えてあり大丈夫)」「飲酒の可否について (→禁酒を継続に決定)」などを話し合い、1～3については、次回2月4日の避難所運営委員会で決定していくこととなりました。

## ◆◆ 社会を明るくする運動 作文コンテストの表彰 ◆◆

12月9日(月)山梨町長さんと保護司会の会長さんが来校され、前号で紹介した3名を表彰していただきました。3名の作文の要旨を把握されており、作文を書こうと思ったきっかけを尋ねられていました。「ドライブレコーダーに記録された高速道路でのあおり運転、その裏で、関係ない方がガラケー女に間違えられひどい誹謗中傷にさらされた事を知り、作文で自分の考えを伝えたくくなった。」「社会を明るくする運動が自分の生き方に一番合っているなど感じていたから」「一番書きやすそうだなと感じたから」等々正直に伝えてくれました。来年7月に作品は広く公開されるそうです。



◆◆ 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会決勝に参加して ◆◆

同決勝大会に見事決勝予選大会を勝ち抜き、ファイナリスト27名となって出場した さんからの報告が入りました。大会参加が成長に繋がっている様子が伝わってきます。同年代の仲間との交流で、人とのつながりが広がるとても良い機会になったことが素晴らしいと思います。

2年A組

【この大会に参加するため、あなたはどんな準備や課題を克服してきましたか】

今回のスピーチで課題となったのは、5つの日本語だった。本来は全て英語のスピーチなはずだが、私は日本の文化について語ったので、日本語がいくつか入った。元々英語の方がしゃべりやすいのもあって、5分間ずっと英語でしゃべっていると、途中で入ってくる日本語を上手にきれいに発音することができなかった。だから最初の頃は、ひたすら日本語の発音の練習をした。

私は、顔も名前も知らない100人の前でスピーチする方が、知り合い100人の前でスピーチするより緊張せずになしとげることができる。だけれどそんなことは言っていられないので、家に来た友だちに聞いてもらったり、毎日家族に聞いてもらった。実際に言っていないが、寝言で言うほど練習を積み重ね、自分らしきをつらぬき、大会に挑みました。

【この大会に参加することによって、自分にどんな成長があったと思いますか】

- 大勢の人の前で緊張せず、自分を見失わないで、ありのままの自分をつらぬき通すことができた。
- 数少ない2年生の中の1人だったが、学年、地域に関係なくコミュニケーションを取ることができ、旅館に集まった151人、知らない人はいなくなるほどになった。

◆◆ 広報葉山 12月号 お気づきになりましたか? ◆◆

でんごんぱんコーナーに小さな記事が載りました。タイトルは「南郷中タイムカプセルについて」です。記事の内容は、平成12年(2000年)度在籍の生徒・関係者に向けられた、元南郷中学校長 先生からのメッセージで、「2020年2月22日(土)予定の開封は中止します。」というものです。

詳しい説明は、南郷中HPのトップページにバナーのある「教育実習」コーナーに掲載されています。

当日の混乱を避けるため、事前の掘り起こし作業を2018年6月に開始されて以降、先生・先生は、延べ20回の掘り起こし作業、金属探知機の導入など、精力的に探索活動を行われましたが、カプセルの発見に至らなかったようです。おそらくは20年たって大木となったヒマラヤスギの根っこに、地中深く取り込まれてしまったようです。先日断腸の思いで来校され、2年にわたる探索行動を終えること、開封セレモニーは中止されることを伝えてくださいました。学校としてはHPをご利用頂き周知に役立ててほしいと協力いたしました。

まだこのことを知らない卒業生の方も多いかと思います。皆さんの口添えで、中止決定の旨が周知されることを願う次第です。来年度は開校40周年を迎えます。数十年後を意識した思い出作りの難しさを改めて痛感した次第です。

◆◆ 右写真は…冬に暖を求めて…珍客来校。12月12日の朝9時46分の写真です。誰だか分かりますか。理科室脇、メダカの池そばで太陽の光を浴びながら、ひなたぼっこしていました。(by ますだ かひこ) ◆◆



2019.7.30 反応のあった個所に印



◆◆ この絵を大切に ◆◆

教育委員を務めておられる、神奈川県立近代美術館長が、学校視察の時に言われた言葉です。

第9回卒業記念に、地元の画家と額制作家によって寄贈された「かえり道」というオリジナル作品。校長室の廊下

壁面に飾られています。「学校にオリジナルな原画が飾られているのは大変貴重なこと。校内には模造画も多く飾られているが、原画は大変貴重なもの。額清掃等行えばよみがえります。大切にしてください。」との助言を頂きました。美術科の 教諭の手助けを受けてクリーニングしていく予定です。

